

山形県 戸沢村

豊かな自然に四季の光あふれと村民のこころを結ぶ村をつくらう

ふさふさ三義会だほ！

2024 No. 150

2023年12月定例会



よく来たなあー中井っ子！
まってたぜ戸沢っ子！
中井町・戸沢村青少年ふれあい交流

2p 12月定例会 補正予算1億7,130万円を可決 **総額49億6,900万円**

3p **常任委員会報告** 総務文教常任委員会・産業建設常任委員会

4p～11p 一般質問 **村政を問い直す！** 7議員登壇

12p **議会中央要望会**

13p **議会日誌**(10月～12月)

14p **冬の歳時記** 編集後記 表紙の言葉

一般会計補正予算 1億7130万円を可決！

～住民税均等割非課税世帯に7万円支給～

令和5年
12月
定例会

12月定例会は12月6日から8日までの3日間の会期で行われた。議案は令和5年度一般会計補正予算1件、特別会計補正予算2件、企業会計補正予算2件、条例改正4件、人事案件1件を審議し、全議案を可決した。一般質問には7人が登壇し、一般質問が現実化されるための提案、村の活性化、鳥獣被害対策、農地基盤整備未実施地区解消、戸沢ファーム臭気問題、除雪助成金の増額、農業資材費高騰対策等広範な内容により議論が交わされた。

補正予算のあらまし

今回の補正予算には、人事院勧告による人件費の調整、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、おとし移住等に対応する予算などが計上されました。

歳出の主なもの

総務費

移住定住促進事業費

78万7千円

村内の空き家を有効利用し、おとし移住ができる環境を整えることを目的に予算化されました。

戸籍住民登録事業費
・戸籍附票システム改修

業務委託料

162万8千円

・住民基本台帳ネットワークシステム改修業務委託料 537万9千円
氏名のふり仮名法制化に伴い、住民票、マイナンバーカード等に氏名のふり仮名(ローマ字表記)を記載記録することが求められます。システム改修費として予算化したものです。全ての補助となります。

民生費

低所得世帯価格高騰重点支援給付事業費

・住民税非課税世帯等に対する臨時特別交付金 3150万円

令和5年度の住民税均等割非課税世帯に対し、電力・ガス・食料品等価

格高騰重点支援追加給付金として1世帯当たり7万円が支給されます。

老人福祉事業費

・高齢者福祉交通事業扶助費の増 300万円

・高齢者除雪サービス事業扶助費の増 400万円

心身障害者福祉事業費

・障がい福祉サービス費の増 4000万円

障害福祉サービス利用者数が増えたことにより4000万円の増額補正となりました。村負担分は四分の一の1000万円となります。四分の三は国・県補助。

農業振興事業費

新規就農者育成総合対策事業費補助金の増 150万円

既定の要件を満たす認定新規就農者に対し、最長3年間、年間最大150万円の給付になります。

就農時の年齢が原則49歳以下、就農計画に即して主体的に農業を行うなどの要件があります。補助率は10/10国費

土木費

道路維持事業費工事請負費の増 200万円

向松坂地内の村道の法面が崩れ落石があったことに対応するための予算化です。

道路建設事業費測量設計委託料の増 880万円
向松坂地内村道落石防止柵設置に伴う設計費が予算化されました。

条例改正

○戸沢村特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

特別職の期末手当の改正。期末手当は期末手当基礎額(報酬月額)に定められた割合をかけて算出、支給されます。戸沢村議会議員を一例にあげると、これまでは507150円、改正後は587650円となります。(6カ月以上在職の場合)

○戸沢村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

民間賃金水準との均衡

を図るため、公務員給与勧告が出されたことに伴い、人事院勧告・県人事委員会勧告、近隣市町村の動向を加味し提案され可決されました。期末手当、月例給等が引き上げられました。

○戸沢村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

地方自治法の改正により、これまでの期末手当のみの支給に加え勤勉手当が加わります。令和6年4月1日から施行されます。

○戸沢村税条例の一部を改正する条例

令和6年度から森林環境税が導入されます。国税ですが市区町村が賦課徴収することになります。また、これまで村民税の均等割額に加算されていた復興特別税は令和5年度で終了します。

新たな税導入となりますが、復興特別税の終了により納税義務者の村民税均等税額には変更なく6000円となります。



産業建設常任委員会



総務文教常任委員会

常任委員会報告

総務文教常任委員会

12月7日、受理した陳情書について総務文教常任委員会を開催し審議しました。審議結果は次のとおりです。

○受理番号1号 医療機関・介護施設への支援の拡充と、患者・利用者の負担を軽減し医療報酬・介護報酬を大幅に引き上げるための意見書の提出に関する陳情書
審議結果 採択

採択された意見書はただちに関係機関に提出されました。

陳情の審議のほか、今後、総務文教常任委員会として重点的に検討していく課題等について、執行部からも意見をいただき協議を行いました。詳しくは次号等でお知らせする予定です。

委員長 安食 勇

産業建設常任委員会

12月7日、産業建設常任委員会を開催し、委員会として、陳情、請願の審議の他に、鳥獣被害、空き家対策、農業問題等を重点課題として、現地視察や、議会閉会中の委員会を開催し、今後とも対応に努めていくことを確認しました。

委員長 柿崎 英矢

北区役所訪問

チャリティ物産市翌日の11月13日、北区役所を東京戸沢会松田会長とともに、村長、副村長、議長、副議長、職員計7名で訪問しました。松田会長から山田区長にチャリティ物産市の収益の一部を目録として手渡しました。また、北区と戸沢村との情報交換もあわせて行われました。



前列左から2人目山田北区長、3人目松田東京戸沢会会長

山形県戸沢村チャリティ物産市



令和5年11月12日(日)、東京戸沢会、戸沢村が主催し、北区立赤羽公園を会場に開催しました。採れたての野菜などの販売、餅つきなどが行われ、多くの人でにぎわいました。戸沢村議会からは全議員が参加し、戸沢産品のPRに努めるとともに、東京戸沢会の会員の皆様と親睦を深めることができました。今回で33回目数を数える物産市、東京戸沢会会員の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

村政を問い、正す!

7名の議員が一般質問



一般質問とは、議員個人が村の事務執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を村長に求め、村が村民のために適切な村政運営を進めているかをチェックするもの。

I 阿部 光樹議員	5p
● 一般質問が現実化されるための提案	
● 鳥獣被害防止への対策等に関して	
II 岡田 孝一議員	6p
● 村の活性化を問う	
● 集落機能の維持強化は喫緊の課題	
● こども議会設置についての考えは	
III 柿崎 英矢議員	7p
● 鳥獣被害対策について	
● 村道の維持管理について	
IV 加藤 政一議員	8p
● 農業基盤整備の基本構想の状況と今後の事業展開は	
● 最上地区広域連合、継続か解散か	
● 公共交通の利便性向上は	
V 荒木 誠 議員	9p
● 戸沢ファームの臭気問題、現在の状況は	
● 農業生産者への負担軽減対策を行う考えは	
● ドローンの有効活用を図る考えは	
VI 安食 勇 議員	10p
● 除雪助成金の増額の考えは	
● 楽しみながら参加可能な婚活等の施策は	
● 物価高騰や減収による農家への経済支援策は	
● 東北農林専門職大学との連携の考えは	
● 猟友会への補助、助成を見直す考えは	
VII 荒川 和明議員	11p
● どのような農業振興を今後図るのか	

一般質問



阿部光樹 議員

一般質問が現実化 されるための提案

問 商品券配布事業等は村民や事業者、そして村の税収入としても利点があり、循環型の事業であると考えます。また、村外の方々に商品券を買っていただければ、村にとっては交流人口の増加、事業者には売上増と利点などが増えます。村外の方々向け商品券事業への考えは。



村長 令和2年度に実施した村民に限らず販売した際は、長蛇の列や早期売り切れなどに、村民の方より不満や苦情等があったため、

現在は村外向け商品券の考えはありません。

問 村の持家住宅整備促進事業補助金について、既存

の家を解体して新築すると多額な費用が掛かり、実家に帰ってきて住もうと思うのが大変な人もいます。

例えば住宅の新築に関しては既存住宅の解体費用の補助を上乗せするなど、戸沢村の魅力をつくり、今まで以上に村内外へと発信すべきですが村の考えは。

村長 解体費用も補助対象になっていますが、解体のみの工事は対象外です。

村の補助については県よりも補助限度額が高く設定しており、併用も可能です。周知に関しては、「広報とざわ」やホームページで行っています。



鳥獣被害防止への 対策等に関して

問 ニホンザルに対しても村として色々と考え始めたようですが、「とりあえず、まずは」などという考えはやめていただき、確実な対策をお願いします。

追い払いなら徹底的に、捕獲するなら猟友会の会員に対し有害鳥獣駆除の報酬をもっと上げるべきですが村の考えは。

村長 被害防除・生息地管理・個体数管理の積み重ねが必要と考えます。

クマのワナ設置や撤去はそれぞれ年間20000円、監視は年間50000円、その他鳥獣のワナ設置や追い払いなどは一日20000円で、捕獲は1頭50000円です。

問 すべての有害鳥獣に対し共通ですが、生息域や個体数の把握などは必要です。例えば捕獲し、GPSをつけての観察や可能な地域に



サル捕獲罠

対し有志団体を募っていただいたり、猟友会にお願いしたりし、報酬を払い生息域を把握する。多額な費用を要する専門家に依頼しなくても可能ですが、村の考えは。

村長 麻酔銃での捕獲は獣医師が極めて少なく要請も困難な為、個体数の把握は困難と考えます。

各地区会長との懇談会で、サルの群れのおおよその推定移動ルートなどの話題もあり、適地に罠を設けての捕獲を新年度より行います。

一般質問



岡田孝一 議員

村の活性化を問う

問 村の人口減少が止まらず、11月末で4006人です。様々な施策を講じてはいますが、活力があり元気な村と言えるか疑義を感じます。村長就任10カ月を迎え、村政全体の現状認識は、

村長 高齢化率も43%と高い数字となっています。村も少子化が進み、一人暮らし世帯・老老世帯が多く、除雪は大きな問題となっています。地域でサポートできる人も少なく課題も多いと聞いています。高齢者への対策は行政だけでなく社会福祉協議会、なによりも

地域の関りが非常に大切です。また、若い人達が集える場、子供たちの遊び場といった子育て世代のご意見もあります。

問 自身の選挙公約と前任者との意見相違や主要事業の進め方にギャップがあれば、集中と選択を図るべきだと思います。村民の加藤村政への大きな期待に応えるため、村政の転換を今図るべきです。村長の思いを伝えてください。

村長 厳しい財政状況ですが、私の公約である学校給

食費無償化を令和6年度からは是非実施したいと考えています。高齢者への対策は、除雪費・暖房費などしっかりと継続します。公約に掲げた一つひとつを実現に向け実施し、若者定住や高齢者が安心して暮らせる村づくりを進め、人口減少を食い止めるよう努力します。

集落機能の維持強化は喫緊の課題

問 村の行政事務委託に改善点はないのか。



令和5年4月21日開催「戸沢村行政事務連絡調整会議」

村長 毎年、行政事務連絡調整会議や地区会長懇談会を開催し意見交換を行っています。

高齢者にとって回覧文書の配布は負担となります。また地区会費の高齢者免除が増え会計をひっ迫しています。行政事務委託料の増額をとのご意見を受けています。

今後は、配布物を極力減らし、地区会の負担軽減に努めます。また各分野でのデジタル化を検討します。

問 一人暮らしや老々世帯にとっては、地区会費納入は大きな出費です。各地区で世帯数が激減し地区単位での「まつり」も行えないのが実態です。

村の均衡ある発展のため、南部と同様の支援を中部・北部でも行っているかどうか。

村長 各地区の主体的提案や行動に対する援助は必要で、現行の地域づくり交付金が活用できると思います。地区会との情報交換を深めてまいります。

こども議会設置についての考えは

問 戸沢学園9年生江口来誓君より、若者の意見を聞くこども議会開催の提案が議会にありました。議会では総務文教常任委員会で議論を深める事としていきます。村長の考えは。

村長 私は「村民との対話」「村民目線での村づくり」を進める中で、子どもたちの意見を聞く機会を是非作りたいと考えます。実現に向けて村も協力していきたいと考えています。



令和元年9月6日 村への提言 意見発表会

鳥獣被害対策について

問 現在、サル、クマ、イノシシ等の鳥獣被害が村内各地で発生している。被害状況を調査しているのか。調査しているとすれば、家庭菜園（自家消費）を含め被害額はいかほどか。

村長 現地に赴き被害状況を確認しています。鳥獣による被害は多発しています。倒伏等により収穫量を確認できないこともあり被害額を算出できない状況です。

問 クマの出没件数は多く、加えて南部地区でのサル被害は甚大です。早急な対策

が求められています。村長の考えは。

村長 村内では未だ人的被害が出ていませんが、民地にも出没していることから注意喚起や捕獲を行っています。被害防除として、電気柵の設置と維持管理などにより、侵入、定着しづら



柿崎英矢 議員

問 戸沢村では今から35年前に、クマに襲われ3人の方が亡くなりました。また、南部地区のサル被害も確認されてから8年になります。本来もっと早く視察や罠設置などの対応をすべきだったと考えます。今回の視察研修は参加者以外へ情報が提供されず、情報共有化が図られていません。旅費、宿泊費は視察参加者が負担したのか、公費であったのか。



います。引き続き猟友会の協力を得ながら対応してまいります。また、10月18日には群馬県川場村に向き、猿の捕獲罠の現地視察を行いました。視察で得た情報は今後、皆さんに提供いたします。

村長 交通費や宿泊経費は村の経費です。

問 村民の税金だとすれば、今後の視察は、議会を通して人員の選別や打ち合わせ等をしていただきたい。

村長 執行部の考え方もあります。議会側としてご理解願いたい。

村道の維持管理について

問 村道の穴、ひび割れによる騒音、振動、災害の心配から、苦情が多く寄せられています。村道管理者には適切な処置が求められて

います。状況確認の頻度を増やし、その都度、補修をする事で改修工事を抑えられると考えます。今後どのように維持管理をしていくのか。

村長 春と秋に舗装欠損箇所

問 村の財政状況もありますが、今以上の村民の生活道路の維持管理に努めてもらいたい。

村長 今後も、各地区会長からの報告を受けながら状況の把握に努めます。



崩壊が心配される村道 12月現在

一般質問



加藤政一 議員

農業基盤整備の基本構想の
状況と今後の事業展開は

問 農地未整備地区解消に
むけた基本構想進捗状況と、
今後の未整備地区解消にお
ける事業展開は。

所有者と話し合いを持つ
か。

村長 基本構想設計業務は
今年度末を工期に、発注し
ています。農業に関わる地
域計画策定のアンケート調
査結果を踏まえて話し合
い、基盤整備事業について
協議のうえ、意向を確認出
ればと考えています。

産業振興課長 話し合いの
原案となる農業地域計画作
成にむけ、来年度末まで作
業を進めていきます。それ

問 基本計画を早く作成し、
行政が主体的に進めるとす
ると、いつ頃を目途に土地



その地区に応じた構想を
示して、土地所有者の同意
を得られるように慎重に進
めていきます。

最上地区広域連合
継続か解散か

問 国保事業も様変わりを
しており、既存の施設（事
業所）は令和6年度までし
か使用できません。令和7
年度中に広域連合の事業所
の移転が求められます。継
続か解散か早急に結論をだ
すべきで村長の考えは。

村長 広域連合として、国
保事業を展開して16年が経
過し、取巻く状況も変化し
ています。政策調整会議と
広域連合12月定例議会で今
後の方向性について意見交
換がなされると思います。

問 広域連合の運営形態を
検証し、構成4町村首長の
議論と英断を持って、継続
か解散か時期を失すること
なく判断すべきでは。



村長 これまでの議会での
議論を踏まえ、事業所の移
転も考慮して考えを伝えて
いきます。

公共交通の
利便性向上は

問 公共交通の充実と利用
しやすい環境整備について
の考えは。

村長 村の公共交通は、予
約制のバス、タクシーを運
行しています。

利用しやすい公共交通に
向け、住民アンケート調査
を来年度計画しています。



戸沢村乗合デマンドタクシー

地域公共交通会議でも協議
し、利用しやすい環境整備
を考えていきます。

一般質問



荒木 誠 議員

戸沢ファームの臭気問題 現在の状況は

問 戸沢ファーム通信を配布して臭気、処理水について周知していますが、現在の状況は。

村長 現在、離乳豚舎の脱臭設備工事が完了し脱臭能力も上がっていると報告を受けています。今後、臭気測定装置と設置に必要なポールを松坂バス停車場に、野口公民館付近についても相談しており、設置に向けて準備を進めています。

問 山形戸沢ファームの会社名やブランド名をPRす

るため、村として看板等を設置する考えは。

村長 全国展開を見据え、戸沢村のPRにつながるように「山形戸沢ファーム」の名称となりました。親会社の「米澤豚一番育ち」ということもあり兄弟豚として「戸澤豚一番育ち」と一文字だけ違う形の名称に決定しました。このような経緯もあり、相乗効果を考慮し、県道や村道等に看板のぼりを設置していくことを山形戸沢ファームとも検討していきたい。

農業生産者への負担 軽減対策を行う考えは

問 エネルギー価格の上昇、その他生産資材等の価格上昇は、農家に大きな負担を強いて経営を悪化させます。物価高騰のおり、村が考える負担軽減対策とは。

村長 山形戸沢ファームが豚糞堆肥を無償提供しています。活用していただければ経費削減になると期待しています。生産資材などの各種高騰対策について、村単独でというよりは国や県と連携し対応したいと考え

ています。村民の生活を守るという観点からプレミアム商品券事業を行い、総体的な支援を実施しています。

問 農業機械導入時、農家の負担軽減、次世代の担い手へのためにも村独自の補助事業が必要と考えますが村長の考えは。

村長 村の基幹産業である農業については、農業所得向上を図るため、作業の効率化や安定して高品質作物が供給されるように、村独自の補助事業についても検討する考えです。

ドローンの有効 活用を図る考えは

問 村では何台のドローンを保有しているのか。現状の活用方法は。

村長 総務課管理のドローンを1台保有しています。通常時は中山間地域等直接支払交付金事業に伴う農地及び、各施設の管理状況の確認などに活用しています。また、災害発生時には被災状況の確認に活用しています。

問 赤外線ドローンを導入し災害時や鳥獣被害対策に活用する考えは。

村長 村の業務全般についてデジタル化の推進が必要で、国の補助を受け計画策定を進め、災害時や鳥獣被害についてもデジタル化によって効果的に対応できるよう検討します。



光選別機※

※玄米や米に混ざった石や虫食いの米を取り除く機械

一般質問



安食 勇 議員

除雪助成金の増額の考えは

問 物価高騰で除雪を頼む高齢者も頼まれる方も、大

変な状況にある。助成金の値上げの考えは。

村長 今年度については現行の助成金で対応と考えている。

問 令和3年度も4年度も3万円でも不足している世帯がある。生活困窮や危険性を伴う時など、除雪依頼が困難な場合は、行政から対応してもらえるのか。

村長 すべてに対して対応はできない。まずは役場に相談してほしい。

楽しみながら参加可能な婚活等の施策は

問 道の駅を活用した花植えや交流人口を呼び込むための「幸せの鐘」・「ターザンロープアクティビティ」など婚活による少子化対策の考えは。

村長 婚活については、県や最上管内市町村と連携して進めてまいりたい。様々な施策について勉強していきたいながら、「フラワーロード」や「幸せの鐘」などについても検討していきたい。

物価高騰や減収による農家への経済支援策は

問 物価の高騰や酷暑による減収で苦しむ農家のために、利子補給制度の活用はできないか。

産業振興課長 各金融機関と連携を図り、借入の利用者には利子補給の助成を行うことは可能。是非、金融

機関で相談いただきたい。

東北農林専門職大学との連携の考えは

問 来春開学する東北農林専門職大学と連携し、村の担い手や定住促進に繋がる交流人口の増や定住促進に向けた村の考えは。

村長 村内の研修先の確保や地域の魅力を体験してもらえそうな受け入れを整備し、定住につながるよう取り組みたい。



開学間近の東北農林専門職大学

猟友会への補助、助成を見直す考えは

問 一発数百円の弾を使い追い払いを行うが、今の補助金では実態に合わない。このままでは鳥獣対策に協力してもらえない。弾代や駆除の慰労金を考慮すべきでは。

村長 必要経費を含めた対応もしっかりとやっていきたい。

問 鳥獣が増える中で、最後の砦となる猟友会が持続可能でなければ住民の安全が脅かされる。早めの施策が大事ではないのか。

村長 検討を重ね、関係機関と連携のうえ、しっかりと対応したい。



一般質問



荒川和明 議員

どのような農業振興を 今後図って行くのか

問 燃料、肥料等の高騰に
対する村の考えは。

村長 国や県と連携し、対
処したいと考えています。

山形戸沢ファームが豚糞
堆肥を無償で提供している
ので、活用いただければ経
費削減になると期待してい
ます。

問 国や県と連携し対処す
るとありましたが、最上郡
内で農業補助金の取得率が
100%を達成した町があ
ります。戸沢村はどのよう
な状況にあるのか。

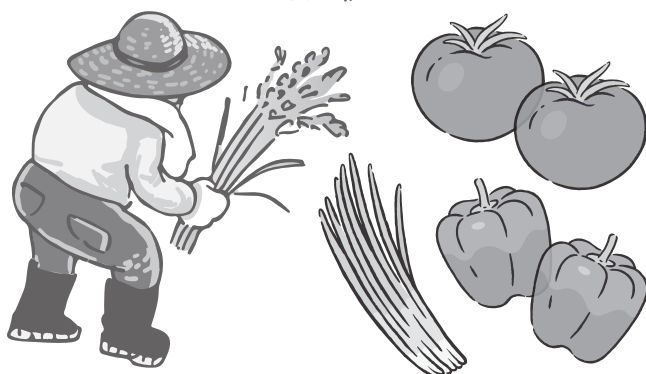
産業振興課長 一部の補助
事業については、翌年度と
なった事業がありますが、
取得率は100%となつて
います。

問 米の補助金をもらう際、
認定農業者とそうでない農
家とでは違いがあります。
今の認定農業者数は何人か、
年代ごとの割合はどのよう
になっているのか。

産業振興課長 60代、70代
が約70%占めています。

問 若年層の割合が低い状
況となっているのですが、後継
者問題をどのように考えて
いるのか。

村長 年齢層が上がってい
ることは承知しています。
ただ一方で若い新規就農者
がいるとも聞いています。
若い方より懇談する機会を
設けてほしいと依頼があり、
30人ほど集まると聞き、若
い方の熱意を感じたところ
です。戸沢村の基幹産業は
農業で、その中でも米を抜
きには考えられません。米



とあわせて畑作振興にも取
り組んでいきます。

農業者や地域の皆さんの
話し合いにより作成される
計画が、これからの農業の
土台、指針となると考えて
います。

問 次年度以降の村の奨励
作物をどのように考えてい
るのか。

村長 現在、奨励している
作物は水田活用による産地
交付金事業を活用し、各ほ

場にあつた作物を生産して
いる現状です。今後の特産
農産物の選定ですが、回答
したとおり実証圃をベース
に主力品種を選定したいと
考えています。

問 村の奨励作物は色々あ
るが、その中で重点振興作
物に指定されているエゴマ
について伺います。昨年と
比較し10分の1の収穫量と
なっていることに加え、販
売不振で来年度以降の作付け
が難しいと聞いています。
この問題に対し対策を講じ
る考えはあるのか。エゴマ
に限らずトマト、パプリカ、
ニラ等々奨励作物が継続し
て生産できる対策をお願い
します。

産業振興課長 来年度分は
確保していますが、縮小す
ると聞いています。エゴマ
油の販売促進のため、まず
は認知していただくことが
必要です。農業振興協議会
と連携を図り取り組んでい
きます。

議会中央要望会

11月14日、県選出国會議員（加藤鮎子衆議院議員、舟山康江参議院議員、芳賀道也参議院議員）へ議会による要望会を行いました。



衆議院第一議員会館議員事務室（加藤鮎子議員）にて



参議院議員会館議員事務室（舟山康江議員）にて



参議院議員会館議員事務室（芳賀道也議員）にて

学校給食費の国による無償化について

政府には、こどもを産み育てる環境整備のため、義務教育期間の教育にかかる負担を軽減する対策として、子どもの医療費無償化等の支援を行っていただきました。残る課題の一つに義務教育期間の学校における完全給食費無償化です。

地域を理解することや食文化の継承、自然の恵みなどを理解するうえで、食は重要な教材です。学校給食は、食教育の「生きた教材・食の教科書」として学校教育法でも教育活動の一環に位置付けられています。子どもたち自身が食べる喜びと生きる力をつけ、子どもたちの健やかな発達を保障するためにも、義務教育における学校給食費の無償化が強く求められています。

戸沢村では、学校給食費の無償化を令和6年度の最重要課題の1つと考え、事業化に向け取り組みを進めているところです。

状況をご理解いただき、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

GIGAスクール構想の着実な推進に向けた財政措置について

地方財政措置により通信ネットワークの整備や児童生徒1人1台のタブレットコンピュータ導入が可能となり、現在、教育現場で有効に活用されています。児童生徒の学習への興味、関心が高まるとともに、児童生徒と先生との双方向のコミュニケーションがより図れるなど成果があがっています。情報収集、情報の利活用の面からも大きなメリットがあり欠かせないものとなっております。

戸沢村内の学校では導入から3年経過し今後端末機器の更新が必要になります。文部科学省が来年度の更新に係る費用を概算要求し、地方財政にご配慮いただいているものと考えております。物価高騰の折、端末やモバイルデバイス管理システム等更新に係る費用の増加が懸念されます。

状況をご理解いただき、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

議会日誌 (10月～12月)

10月

- 3日 四町村議会議員合同交流会
- 4日 戸沢村・庄内町地域連携フォーラム
- 5日 議員全員協議会
令和5年第5回臨時会
議会広報常任委員会
最上・村山・庄内地方町村議会議長会合同研修会
- 8日 戸沢村立戸沢保育園運動会
- 10日 最上広域市町村圏事務組合事業説明会
- 14日 第22回戸沢村青少年健全育成村民フォーラム
- 16日 置賜・最上地方町村議会議長会合同研修会
- 17日 最上広域市町村圏事務組合議会運営委員会
- 19日 舟形大蔵戸沢間道路整備促進期成同盟会現地調査会
- 20日 令和5年度町村議会議員研修会
- 23日 最上広域市町村圏事務組合議会 10月定例会
- 24日 最上地区広域連合議会 議会運営委員会
〃 議員全員協議会
- 26日 最上地区広域連合議会10月議会定例会
- 27日 最上地域市町村議会議員研修会・交流会
- 30日 例月出納検査

11月

- 9日 喜多方市議会議員現地視察
- 12日 山形県戸沢村チャリティー物産市
- 13日 北区長面談
中井町表敬訪問
県選出国會議員 懇親会
- 14日 議会中央要望会
- 17日 山形県建設業協会面談
- 20日 最上広域市町村圏事務組合議会 議会運営委員会
第2回 県及び市町村長・議長会議
- 24日 議会運営委員会
第22回「最上を拓く高規格道路」建設促進合同大会

- 25日 創立20周年・最上地域ふるさと連合会総会・懇親会
- 27日 例月出納検査
舟形大蔵戸沢間道路整備促進期成同盟会要望活動
- 28日 議員全員協議会
- 29日 第67回町村議会議長全国大会
第48回豪雪地帯町村議会議長全国大会
町村議会議長行財政セミナー
第2回 戸沢村老人クラブ連合会 歌謡曲を楽しむ会

12月

- 1日 そば焼酎「山形そば街道」試飲会
- 4日 最上地方町村議会議長会臨時総会
- 6日 定例会（本会議）
- 7日 各常任委員会
- 8日 定例会（本会議）
議会広報常任委員会
- 12日 最上広域市町村圏事務組合事業説明会
- 14日 前最上地方町村議会議長会会長との懇談会
- 20日 最上広域市町村圏事務組合 議会運営委員会
〃 議員全員協議会
- 21日 最上地方町村議会議長会臨時総会
自治振興研修会
- 22日 最上地区広域連合議会 議会運営委員会
〃 議員全員協議会
- 25日 例月出納検査
- 26日 最上広域市町村圏事務組合議会 臨時会
〃 議員全員協議会
市町村長と議会議長との意見交換会
議会広報常任委員会
最上広域市町村圏事務組合行政情報交換懇談会
- 27日 最上地区広域連合議会 定例会
〃 懇親会

冬の歳時記

なし団子飾り



小正月（1月15日）の行事として多くの一般家庭でも見受けられた「なし団子飾り」ですが、今は住宅事情によりかつて程見受けられなくなりました。「ミズキ」の木に、小さく丸めた餅や縁起物の飾りを付けて、神棚や大黒柱に飾る伝統行事で、由来は様々あるようですが、梨の花がたくさん咲くと豊作になるということから、団子をなしの花になぞらえて飾ったのではと言われています。飾り物の、由来については後日、掲載の予定です。

議会傍聴のお知らせ

次の定例会の予定は下記のとおりです。

3月7日(木)から12日(火)

本議会は、インターネットでもご覧いただけます。詳しくは議会事務局
☎72-2113にお問い合わせください。



表紙の言葉

第33期、中井町・戸沢村青少年ふれあい交流事業の冬期交流が本村で行われました。

中井町の井ノ口小と中村小から合わせて9名と戸沢学園6年生8名が交流しました。地域の特性や色々な人との関りを通じた発見から、多くのことを学んでいました。この交流事業でそれぞれの地域を再発見し、地元に残って活躍してくれることを願います。

編集後記

元日に発生した能登半島地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

災害はいつ、どこで起きるかわからず、日頃の備えや一人ひとりの意識づけが必要だと痛感しました。いくら行政側が備えを万全にしているも、私たち個々人が危機感を持たなくてはいけないので、皆様には再確認をお願いします。

被災地の日も早い復興を願いつつ、今できることを自ら行動に移しましょう。

議会広報常任委員会

副委員長 阿部 光樹